

慶應義塾大学 文学部

哲学専攻

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

哲学専攻では、①哲学文献を正確に読解できる語学力、②哲学の歴史と多様な諸分野についての総合的な知識、③個別の専門分野に対する深く正確な理解を身につけさせ、④それらの着実な基礎のうえに独創的な哲学研究を卒業論文として結実させるべく、以下のような方針でカリキュラムを編成する。

1. 2年次の必修科目として、ドイツ語ないしフランス語の「哲学倫理学原典講読」を設置し、より専門的な選択必修科目として、「哲学原典研究」をそれぞれドイツ語・英語・フランス語・ギリシア語・ラテン語に対して設置する。
2. 基礎的・総合的な選択必修科目として、「哲学概論」、「西洋哲学倫理学史」、「論理学入門」を設置する。
3. 専門的な選択必修科目として、「科学の哲学」、「中級論理学」、「現代論理学の諸問題」、「知識の哲学」、「形而上学」、「心の哲学」、「言語の哲学」、「現象学」、「宗教の哲学」を設置する。
4. 3・4年次に各教員の専門的指導の下に卒業論文の執筆と完成に取り組むための「哲学研究会」（ゼミナール）を設置する。この際、複数の研究会に所属し、領域横断的な研究をおこなうこともできる。